

(中間評価)

レボリューション！女性教員養成神戸スタイル

(実施期間：平成 22～26 年度)

実施機関：神戸大学（総括責任者：福田 秀樹）

プロジェクトの概要

(1) 新規養成女性研究者の採用計画

本学独自の育成研究員も対象として、新規養成女性教員を女性枠により公募で 21 名以上（准教授、講師、助教）理工農学系研究科に採用し、採用した研究科にインセンティブとして採用者 1 名に対して 1 名の助教を学内経費により措置する（任期 5 年間）。「女性研究者養成システム改革戦略会議」にて、採用計画の実効性を担保する。

(2) 女性研究者養成のための取組内容

新規養成女性教員に 1 年目スタートアップ研究費を、2、3 年目に研究費を支給、メンター 2 名（研究、ライフ）を配置、理工農学系のすべての女性教員に研究スキルアップ経費を補助、全学の子育て中の女性研究者に研究支援員を配置する。すべての女性研究者を対象に「神戸キャリアアップカフェ」を、女子学生を対象に「学生向きキャリアカフェ」を開催する。

(3) 期待される効果

理工農学系の女性教員の採用と昇進の増加。博士後期課程に進学する女子学生の増加。

(1) 評価結果

総合評価	進捗状況	取組の内容	システム改革	実施体制	今後の進め方
A	s	a	a	a	a

総合評価：A（所期の計画と同等の取組が行われている）

(2) 評価コメント

女性教員採用システムの構築により、新規養成女性研究者の採用目標、機関全体の女性教員比率ともに目標を上回り達成しており評価できる。さらに、事業実施後、女性研究者の研究業績が著明に向上しており、養成計画の成果が見られる。事業実施期間終了後の取組については、システム改革のこれまでの成果を有効に活用し、引き続き女性研究者の増

加を目指すことを期待する。

・**進捗状況**：女性枠を設定した教員公募、インセンティブ助教措置制度、育成研究員制度など、実効性の高い取組の実施により、新規養成女性研究者の採用は計画を上回る実績を上げており高く評価できる。

・**取組の内容**：自主経費を用いて、インセンティブ助教措置制度、育成研究員制度等の女性教員を増加させる取組を実施している点が評価できる。さらに、研究スキルアップ経費の支給、ワークショップの開催等、女性教員養成に向けた各種取組を適切に実施している。

・**システム改革**：女性枠を設定した教員公募、インセンティブ助教措置制度、育成研究員制度等の導入により構築された女性教員採用システムが、独自のシステムとして有効に機能しその成果を上げており評価できる。さらに、女性研究者養成システム改革戦略会議、男女共同参画推進部会の設置により、部局単位で行われる採用をより高いレベルで確認、評価できるシステムを構築している点も評価できる。

・**実施体制**：学長のリーダーシップの下、女性研究者の採用、育成、支援のそれぞれについて、立案、実施、評価のための全学組織を設置しており、全学的な実施体制で取組を推進している点が評価できる。

・**今後の進め方**：全学の女性教員採用比率達成目標を 30%と設定するなど機関として意識が高く、今後の取組の継続性・発展性が期待できる。事業実施期間終了後は、インセンティブ助教措置制度、育成研究員制度を継続しない計画であるが、引き続き女性教員の採用、昇任を加速させていくという全学的コンセンサスを得ることを期待する。